

2018年4月28日(土) AEGH組

暁星小学校校庭 開場10:00

設営9:00(EG組全チーム1名)

8分-2分-8分

		組		A面		審判	組		B面		審判
1	11:00	E	FC BONOS	-	不動小SC	A2	G	SKFC	-	FC WASEDA	B2
2	11:20	E	SCシクス	-	鷹の子SC	A1	G	下目黒田道SC	-	落合FC	B1
3	11:40	E	FCグラスルーツ	-	FC BONOS	A4	G	上目黒FC	-	SKFC	B4
4	12:00	E	不動小SC	-	SCシクス	A3	G	FC WASEDA	-	下目黒田道SC	B3
5	12:20	E	鷹の子SC	-	FCグラスルーツ	A6	G	落合FC	-	上目黒FC	B6
6	12:40	E	FC BONOS	-	SCシクス	A5	G	SKFC	-	下目黒田道SC	B5
7	13:00	E	不動小SC	-	鷹の子SC	A8	G	FC WASEDA	-	落合FC	B8
8	13:20	E	SCシクス	-	FCグラスルーツ	A7	G	下目黒田道SC	-	上目黒FC	B7
9	13:40	E	FC BONOS	-	鷹の子SC	A10	G	SKFC	-	落合FC	B10
10	14:00	E	不動小SC	-	FCグラスルーツ	A9	G	FC WASEDA	-	上目黒FC	B9
11	14:40	H	ソレイユFC	-	大岡山FC	A12	H	FC OCHISAN	-	FC目黒原町	B12
12	15:00	A	戸山SC A	-	渋谷セントラル	A11	A	月光原SC	-	CS菅刈	B11
13	15:20	H	ソレイユFC	-	FC OCHISAN	A14	H	大岡山FC	-	FC目黒原町	B14
14	15:40	A	戸山SC A	-	月光原SC	A13	A	渋谷セントラル	-	CS菅刈	B13
15	16:00	H	ソレイユFC	-	FC目黒原町	A16	H	大岡山FC	-	FC OCHISAN	B16
16	16:20	A	戸山SC A	-	CS菅刈	A15	A	渋谷セントラル	-	月光原SC	B15

2018年4月29日(日) BCDF組

暁星小学校校庭 開場9:00

設営8:30(BC組全チーム1名)

8分-2分-8分

		組		A面		審判	組		B面		審判
1	10:00	B	トラスト	-	烏森SC	A2	C	自由が丘SCウインズ	-	FC千代田	B2
2	10:20	B	油面SC	-	ヴィトーリア目黒	A1	C	ラスカル千駄木	-	東根JSC	B1
3	10:40	B	渋谷東部JFC	-	トラスト	A4	C	FCTリプレッタB	-	自由が丘SCウインズ	B4
4	11:00	B	烏森SC	-	油面SC	A3	C	FC千代田	-	ラスカル千駄木	B3
5	11:20	B	ヴィトーリア目黒	-	渋谷東部JFC	A6	C	東根JSC	-	FCTリプレッタB	B6
6	11:40	B	トラスト	-	油面SC	A5	C	自由が丘SCウインズ	-	ラスカル千駄木	B5
7	12:00	B	烏森SC	-	ヴィトーリア目黒	A8	C	FC千代田	-	東根JSC	B8
8	12:20	B	油面SC	-	渋谷東部JFC	A7	C	ラスカル千駄木	-	FCTリプレッタB	B7
9	12:40	B	トラスト	-	ヴィトーリア目黒	A10	C	自由が丘SCウインズ	-	東根JSC	B10
10	13:00	B	烏森SC	-	渋谷東部JFC	A9	C	FC千代田	-	FCTリプレッタB	B9
11	13:20	D	FCとんぼ	-	金富FC	A12	F	FCTリプレッタA	-	戸山SC B	B12
12	13:40	D	落一小ドリームス	-	五本木FC	A11	F	落四SC	-	自由が丘SCエヴァー	B11
13	14:00	D	猿楽FC	-	FCとんぼ	A14	F	暁星アストラjr.	-	FCTリプレッタA	B14
14	14:20	D	金富FC	-	落一小ドリームス	A13	F	戸山SC B	-	落四SC	B13
15	14:40	D	五本木FC	-	猿楽FC	A16	F	自由が丘SCエヴァー	-	暁星アストラjr.	B16
16	15:00	D	FCとんぼ	-	落一小ドリームス	A15	F	FCTリプレッタA	-	落四SC	B15
17	15:20	D	金富FC	-	五本木FC	A18	F	戸山SC B	-	自由が丘SCエヴァー	B18
18	15:40	D	落一小ドリームス	-	猿楽FC	A17	F	落四SC	-	暁星アストラjr.	B17
19	16:00	D	FCとんぼ	-	五本木FC	A20	F	FCTリプレッタA	-	自由が丘SCエヴァー	B20
20	16:20	D	金富FC	-	猿楽FC	A19	F	戸山SC B	-	暁星アストラjr.	B19

2018年4月30日(替) 暁星小学校校庭

開場9:00

設営9:00(全チーム1名)

10分-5分-10分

				A面		審判			B面		審判
1	10:00	1回戦	A1	-	H2	A面2	1回戦	H1	-	A2	B面2
2	10:30	1回戦	B1	-	G2	A面1	1回戦	G1	-	B2	B面1
3	11:00	1回戦	C1	-	F2	A面4	1回戦	F1	-	C2	B面4
4	11:30	1回戦	D1	-	E2	A面3	1回戦	E1	-	D2	B面3
5	12:00	2回戦	A面①勝	-	A面②勝	審判部2名	2回戦	B面①勝	-	B面②勝	審判部2名
6	12:30	2回戦	A面③勝	-	A面④勝	審判部2名	2回戦	B面③勝	-	B面④勝	審判部2名
7	13:00	フレンドリー	A面①負	-	A面②負	相互	フレンドリー	B面①負	-	B面②負	相互
8	13:30	準決勝	A面⑤勝	-	A面⑥勝	審判部2名	準決勝	B面⑤勝	-	B面⑥勝	審判部2名
9	14:00	フレンドリー	A面③負	-	A面④負	相互	フレンドリー	B面③負	-	B面④負	相互
10	14:30	決勝	A面⑧勝	-	B面⑧勝	審判部2名	3決	A面⑧負	-	B面⑧負	審判部2名
15:00		表彰式		片付け:ベスト4チーム							

7ブロック：バーモントカップ予選会ルール説明

- 試合時間 予選：8-2-8、決勝トーナメント：10-5-10 のランニングタイム
タイムキーパーは置きません。前後半ともタイムアウト無し。
ハーフタイムでベンチ交代
 - ベンチ入り人数 選手は第7ブロック大会までは4種サッカー登録を行った選手はすべてベンチ入りできる。
フットサル登録は不要。サッカーの4種登録の選手証を提示下さい。
スタッフは2名以上3名まで。
交代要員はピブス等用意する。スタッフは選手と違う服装で。
 - 順位決定 (1)勝ち点
(2)得失点差
(3)総得点
(4)当該チームの勝敗
(5)コイントス
※勝ち点：勝=3 引分け=1 負=0
 - ルール注意点 キックオフから直接ゴールを狙ってはいけません。→相手のゴールクリアランスから再開する。
4秒ルール：相手側のキックインあるいは間接フリーキックで再開
キックイン・ゴールクリアランス・コーナーキック・フリーキック
GKのプレー
ただし、GKが相手側コートにてプレーする場合は適用されない。
GKから出たボールは全て、直接ハーフウェイラインを越えてはいけません
ゴールクリアランスおよびインプレー中でも同じ扱い。
ハーフウェイライン上から相手側の間接フリーキック
GKへのバックパス禁止
GKから出たボールは(ゴールクリアランスおよびインプレー中でも)相手選手に触れなければゴールキーパーに返すことはできない。ゴールキーパーが触れた場合、その地点から相手側に間接フリーキックが与えられる。
ただしその地点がペナルティーエリア内の場合は、GKが触れた所に最も近いペナルティーエリアライン上から間接フリーキックを行う
ファールの累積はしない
第2ペナルティーマークは無し
Yカード2枚で退場となり、次の試合出場禁止。
Rカードで退場となり、次の試合出場禁止。
 - ピッチ・ボール等 ピッチは、中央大会は32m×16mだが、第7ブロックは、試合会場にあわせる。
センターサークル半径2.5m ペナルティマーク5m
交代ゾーン 5m フリーキック・キックイン・コーナーキックも5mはなれる。
ボールは、フットサル用の3号ボールを使用する。
 - 上記以外は、フットサル競技規則に準じます。
 - 当日会場にて、補足説明を予定しています。
- ★ 予選リーグ・決勝トーナメント1回戦まで、各チーム、フットサルを理解されている
帯同審判(フットサルまたはサッカーの審判資格がある方)をお願いします。
両チームで話し合いの上、主審・副審を決めてください
- ★ 決勝トーナメントベスト8からは、審判部ですべて行います。

2018 第7フロックバーモントカップ フットサル大会

フロック大会要項

① 主催

公益財団 東京都サッカー協会

② 主管

全日本少年フットサル大会東京都大会実施委員会

③ 開催期間

フロック大会2018年4月28日(土)~4月30日(月・祝)
[中央大会:2018年6月9日(土)・6月24日(日)]

④ 試合会場

暁星小学校G

⑤ 参加資格

- I. 参加チームは実施年度の公益財団法人日本サッカー協会(以下「日本協会」)第4種に加盟(準加盟含む)登録したチームであること。(フットサル登録は不要)
- II. 参加チームの構成は単一チームに限られ、その加盟チームは年間を通して活動していること。
- III. 6年生が10人以上登録し、6年生主体で参加できるチーム。(1チームに6年生が5人以上いること。)
- IV. 会場運営など、リーグ運営に協力できるチームであること。
- V. 引率指導者は参加チームを掌握指導する責任ある指導者であること。
また、内1名以上が日本協会公認コーチ資格(0級コーチ以上・フロック指導者講習受講者・キッズ指導者資格者)を有する事、そのチームの第1試合30分前までの登録用紙・選手証とともに指導者資格証も本部に提出する。

⑥ 試合方法

- I. トーナメント戦
- II. 試合時間は予選リーグ8-2-8、決勝トーナメント10-5-10のランニングタイム。
- III. フィールドは32m×16mを基準とする。(第7フロック各会場条件により合わせる)

⑦ 選手登録

- I. 大会参加選手は所定のメンバー用紙に登録をすること。
- II. 登録用紙に記載の無い選手はメンバー登録は出来ない。
- III. 選手証を所持していない選手は登録出来ない。但し、申請中を証明できる者で役員の承認がある者は認める。
- IV. そのチームの第1試合開始30分前までに顔写真貼付けの選手証(原本)と登録用紙を会場本部に提出し内容確認を行う。
従来のカード型選手証の代わりに、電子選手証一覧を出力したもの(顔写真貼付け必須)の使用も可能とする。
- V. メンバー登録された選手は試合開始10分前までに用具とともに登録用紙の確認を受ける事とする。
- VI. 必ず傷害保険(スポーツ安全保険)に加入していること。

⑧ 選手の移籍と入れ替え

- I. 大会の期間中であっても、いつでも行う事は出来る。
移籍がフロック大会終了以前までに完了していれば東京都中央大会に参加することが出来る。
 - II. 移籍に関しては、移籍元および移籍先チーム代表者はフロック委員長へ報告すること。
 - III. 移籍に関する確認及び協議期間中は移籍先で試合に参加することはできない。
 - IV. 国内や海外からの転移による移籍や登録も、大会期間中でも参加することが出来る。
(少年サッカー連盟役員会の確認が必要)
- ※移籍に関しては2017年度の少年連盟規定が大きく変更されました。
ケースによっては少年サッカー連盟役員会での協議・承認が必要となりますので、必ず移籍元および移籍先のチーム代表者はフロック委員長へ報告をしてください。

⑨ 成績

- I. 成績上位〇チームが東京都中央大会出場資格を得る。

2018 第7フロッグパーモントカップ フットサル大会

1. 競技規則

当該年度日本協会制定のフットサル競技規則に準ずる。
日本協会等が行う15歳以下のフットサル競技会における規則を適用する。
ただし、連盟大会等および各大会で定められた「大会事項規則」が優先する。

2. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

I. 競技のフィールド

- ①フィールドの長さ(タッチライン)は32m、幅(ゴールライン)は16mを基本とし(第7フロッグ各会場条件により合わせる)。
- ②ペナルティエリア等…ペナルティエリア四分円の半径:5m、ペナルティマーク:5m、交代ゾーン4m
- ③観戦指示はその都度ベンチのたば1名の指導者が伝えることができる。

II. ボール

フットサル用3号球、フィールドの状態により適正な空気圧とする。

III. 競技者の数

- ①5人の競技者(うち1人はゴールキーパー)が試合に出場する。
- *一方のチームが3人に減った場合は試合を開始しない、試合中の負傷者・退場者は即時補充する。
- *試合進行中および終了時、フィールド上に3人未満の場合は、試合は不成立となる。
なお、主催の許可を得て、用具を正すまたは負傷の処置で一時的に3人未満の場合はその限りではない。
本項は、早期復帰することが条件となる。復帰の見込みがたない場合は主催の判断で競技を継続させる。
- *試合開始時から試合終了時まで、2人以上3人以内のチーム役員(登録用紙に記載された役員)がベンチにいなければならない。(内1名は指導者資格保持者でなければならない)
例外として、次試合の審判対応準備を行うための通席により、1名となることは認められる。
- ②試合に出場出来る競技者は試合当日のメンバー表登録者で、人数に制限は設けない。
- ③フィールドプレーヤーは交代ゾーンからいつでも自由な交代が出来るが、ゴールキーパーの交代は主催に通知し、試合の停止中に行う。交代要員はユニフォームと異なる色(ビズス等)を着用する。

IV. 競技者の用具(ユニフォーム)

- ①実施年度の日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則する。
- ②選手番号は規定(背面:縦25cm・35cm、前面:縦10cm・15cm)サイズを適宜縮小することができる。
- ③番号表示はシャツの背面及び前面とする。シューズには表示を推奨する。
- ④ユニフォームのメーカーロゴの塗り、スポンキングのライン等には言及しない。
- ⑤当日の対戦相手とユニフォームの色違いを用具チェック前に確認しておくこと。
- ⑥ゴールキーパーの予備せめ事案でのフィールドプレーヤーとの交代の場合、試合で使用してはならない正則いづれかのシャツで本人の番号であれば着用可能。
それが難しい場合は番号無し及安全シヤージ等の着用を認める。
- ⑦必ずフィールドプレーヤーとなるゴールキーパーのシューズおよびソックスは、試合開始前からフィールドプレーヤーと同じ色彩で良い。
ただし、シューズは他の競技者と区別できる色彩とする。また、選手番号は固有の番号とする。
- ⑧登録外の選手がベンチ入り(座席のため)する場合、登録選手および交代要員とは区別できる服装にすること。
- ⑨ユニフォームの選手番号は、選手ごとに固有の番号とし、試合毎に変更することができる。

V. 審判

試合は主審1人、副審2人で運営される。(副審1人は第7フロッグ大会では無しとする。)
審判員の着用を必須とする。
担当試合の終了後、速やかにコート裏側に結果報告、提出すること。

VI. 試合時間

予選リーグ 8-2-8 のランニングタイム
決勝トーナメント 10-5-10のランニングタイム

3. 警告・懲罰および再試合など

- I. 期間中に累積警告を2回受けた選手は、次の1試合は出場停止となる。
フロッグ大会での警告・退場・退席の処分は中央大会には持ち越さない。
- II. 試合において退場、退席を命じられた選手、役員は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については少年サッカー連盟規律フェアプレー委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充する。
主催は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- III. 試合が一方または両方のチームの責任等事由(天災・悪天候・高気温・施設側または大会運営事由など)により開催不能または終結となった場合は原則「再試合」とする。
⇒ 再試合の日時、試合会場、審判員、選手登録などは新たに決定することができる。
なお大会本部および当該チーム合意のもと、やむを得ない事情により再試合が不可の場合は次による。
※開催不能の場合または中止の場合 フロッグ委員長へ状況を速やかに報告するものとする。
フロッグ委員長主導にて役員にて協議し、その後の処置を決定する。
- IV. 試合が一方または両方のチームの責任における事由(選手症不審審、人数不足、暴力行為、試合拒否など)により開催不能または中止となった場合は以下の対応とする。
A. 一方のチーム責任による、開催不能もしくは中止の場合
・放棄試合として、不戦敗(0-5)扱いとする。
B. 両方のチーム責任による、開催不能もしくは中止の場合
・開始試合として、原則「再試合」とする。ただし、大会本部および当該チーム合意のもと、やむを得ない事情により再試合が難しいと判断される場合次に進むチームをチーム代表者のくしにより決定する。
上記のようケースが発生した場合、事由内容によっては懲罰が与えられることがある。
重大事由の場合、没収試合として当該チームの全記録を抹消することもある。
- V. 試合会場本部で判断ができずいし事象が発生した場合は、速やかにフロッグ委員長に確認を取ること。
万一、フロッグ委員長に連絡が取れない場合は、予定通り試合を行うがフロッグ委員長預かりとする。
- VI. 本協会諸規程および本記帳事項にない事例に関しては、規律フェアプレー委員会にて決定する。

5. 熱中症対策

- 日本サッカー協会の「熱中症対策ガイドライン」に従った対応を各会場で行う事を必須とする。
- *WBGT=31(人工芝は28)以上となる時刻に、試合を止めない。(キックオフ時間を設定しない。)
 - *WBGT=28(人工芝は25)以上となる時刻に試合時間に含まれる場合は両ベンチ・補助審判等部分に日影を作り、水やスポーツドリンク、経口補水液等を用意し、試合にはCoolingBreakを認める。
 - *WBGT=25(人工芝は22)以上の場合には飲水タイムを行う(CoolingBreakを行っても良い)
やむを得ず行う場合は「JFA熱中症対策(A+B)」を厳守した上でCoolingBreakを必ず行う。
 - *中止や延滞の判断は試合開始前もしくはハーフタイム時に限る。2レールの対応・変更はしない。
 - *中止や延滞の判断は試合前は本部が決定し、試合中は主催が判断し本部と協議の上、前半で試合を終了する。
 - *中止した試合はグループ3担当と役員が協議の上代替え日を定める。前半で終了した試合の代替えは後半から行う。
 - *各グループは試合の日に当日の「本部」の役割を担うものを候補者とする。
 - *選考担当者は必ず「風球式」WBGT計測器を持参する事。WBGT測定器がその会場に貸出される場合はそれを利用する事も出来る。(事前に担当者に確認が必要)
 - *計測は必ずピッチ上で計測器の風球が日影に落ちないよう、選手の身長より2/3程の高さに設置(吊下げか三脚に固定)する。(150cm平均と仮定した場合は約100cmの高さ…コーン77の旗の下側に引っ掛けると約1mに相当…目安)
 - *全ての試合のキックオフ直前とハーフタイム時に計測を行い、選考担当者は結果報告書の指定の欄にキックオフ時とハーフタイム時それぞれのWBGT指数を記載する。
 - *主催はWBGT指数に対応した場合、「本部」による決定で試合中止、や「試合中選手が熱中症に罹患する可能性が起きたのでハーフタイムで中断し、以降は…」両方を審判報告書の「その他の報告事項」欄に記載する。

参考資料(日本サッカー協会より抜粋)

- フットサル競技規則 http://www.jfa.jp/documents/pdf/futsal/law_futsal.pdf
- 15歳以下のフットサル競技会における規則 http://www.jfa.jp/documents/pdf/futsal/law_futsal_100329.pdf
- JFA熱中症対策ガイドライン http://www.jfa.jp/about_jfa/report/PDF/K20160310_6.pdf